



平成25年度学校だより

善誘館 NO. 6

H. 25. 10. 7

甲府市立善誘館小学校 校長室



校訓 「善行・勤勉・体育」

学校教育目標

- 思いやる心をもつ子
- よく考え工夫する子
- 元気でたくましい子

協力してつかんだ! 最高の希望

大成功の秋季大運動会



みんなの願いが叶い、澄み切った秋空のもと、善誘館小学校「第3回、秋季大運動会」が開催されました。

運動会に向けて本格的な練習を始めたのは、9月13日（金）からでした。練習期間はわずか2週間（実際の練習日は9日間）でしたが、天候にも恵まれ、子どもたちは学年や全校での練習を一生懸命がんばってきました。暑い

中でしたが、みんなで気持ちを合わせて（「和」を大切に）表現運動や競技の練習をしました。同時に4，5，6年生は係ごとに、運動会で使う用具の準備や運営の仕方のリハーサルなど放課後を使って活動してきました。

そんな練習や準備のかがあって、本番でも、どの学年もどの色組も素晴らしい演技や競技ができました。特に、表現運動の演技は、どの学年もよい出来映えだったと思います。



1，2年生の表現運動「未来のミュージアム」ではカラー手袋をしながら、楽しそうに表現していました。短い練習期間でしたが、みんなよく動きがそろっていました。かわいい笑顔いっぱいの演技でした。

3，4年生の「花笠音頭2013」では、踊りの前後にアップテンポの振り付けを入れる構成で、「花笠音頭」の踊りが一層引き立ちました。途中で音楽が止まってしまうアクシデントがありましたが、集中力を切らさず立派に演技することができました。花笠の動きが華やかでした。





5, 6年生の「進め 善誘館丸」のソーラン節と組み立て体操は「さすが高学年」という力強い演技でした。ソーラン節では、腰を入れて漁師が櫓(ろ)をこぐ動作などがよく表現できていました。毎年伝統として取り組んでいる演技なので、短い練習期間でも上手に踊ることができました。練習段階では6年生が5年生の踊りの指導をするなど、伝統が着実に受け継がれています。

組み立て体操では、練習中ちょっと心配だった4段のピラミッドも一発で決まりました。本番での気合いが違いました。

競技では、赤組も白組もみんなで力を合わせてがんばりました。リレーなど運動会前から上級生が下級生の指導をしながら、作戦を立てたり練習したりと熱が入っていました。午前の部を終わって同点ということで、最後まで接戦を繰り広げました。子どもたちも自然に応援に力が入り、運動会が盛り上がりました。結果は赤組優勝でしたが、どちらの色組も本当によくがんばりました。

まさに、運動会のテーマの「協力してつかもう！最高の希望」のとおり大成功でした。

なお、PTAの皆様には運動会の準備、片付けに多大なご協力をいただきありがとうございました。

あいさつは「魔法のことば」！！



挨拶(あいさつ)の語源は、^{ぜんしゅう}禅宗で問答を交わして相手の悟りの深淺を試みること(相手の悟りの程度を知こと)を「一挨拶(いちあいいつさつ)」と言ったところから始まったようです。

人間関係は、何事も「あいさつ」から始まります。あいさつができる人ほど、たくさんの人に好まれます。あいさつされた側はうれしくなるし、あいさつした側も気持ちよくなります。あいさつをして、損をすることなど何事ありません。また、あいさつで相手の人がどんな人柄なのかも分かります。まさに「魔法のことば」ですね！

本校でも、児童会を中心に「あいさつ運動」に取り組んでいます。「笑顔あいさつ隊」が朝、各クラス2週間交代で児童玄関の前に立ってあいさつをしています。

しかし、返事が返ってこなかったり、まだ声が小さかったり、相手の目を見てのあいさつができない子どもたちもいます。そこで、9月末から、よくあいさつできる児童には右上の写真のようなバッチを配り、あいさつ運動が活発になるように働きかけています。早速、効果が出てきており、元気な声であいさつできるようになった子どもたちが増えてきました。ご家庭でも、元気なあいさつができるよう、ご支援のほどよろしくお願ひします。